

好適餌料藻類を用いた種苗生産技術の開発

技術の概要

- ・従来のエゾアワビ種苗生産施設で使用されてきた採苗板に代わる省コスト・高機能な飼育技術を開発
- ・初期稚貝にとって生残・成長が良好な好適餌料珪藻(針型珪藻)を特定
- ・岩手県内漁協のアワビ種苗生産施設において、針型珪藻の培養技術を確立
- ・針型珪藻を用いた初期稚貝飼育の実証試験を実施



従来の採苗版:様々な藻類が繁茂
初期稚貝にとって不適な藻類も混入
生残・生長不安定



好適餌料:針型珪藻
細胞長 1/100 mm

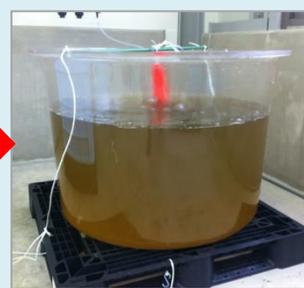


針型珪藻を餌とする
初期稚貝(0.5 mm)

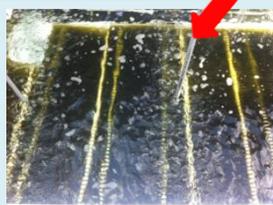
餌料価値の高い珪藻を特定、培養条件を解明



針型珪藻を好適条件で培養



種苗生産に必要な規模で大型水槽中で大量培養、採苗板に附着させる

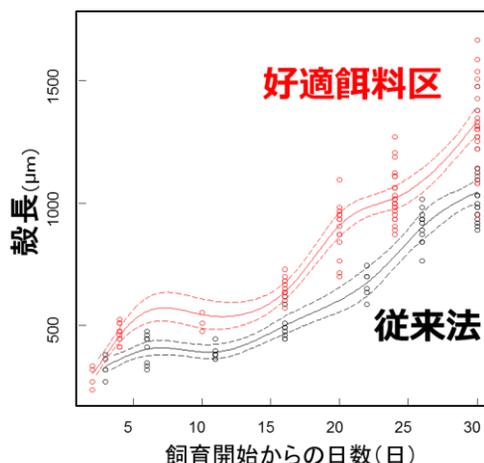


期待される効果

採苗後の初期稚貝の成長を比較(右図)

針型珪藻を与えた区(好適餌料区)では従来法と比較して生長速度が20%、生残率が30%向上

各種苗生産施設にこの技術を導入、種苗生産コスト削減効果を検証



【お問い合わせ先】

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 東北区水産研究所
TEL: 0193-63-8121